

★ 北浜地区のきらりと光る人たち ★

取材先：牛谷団地いきいきサロンのグループ



2回目のワクチン接種を終えてほっと一安心のいきいきサロンのグループ

本城さんたちは、毎週月曜日の午後グラウンドゴルフをしています。6月に入ると公園では暑くなるので、バイパスの下でしています。涼しい風が吹いてちょうど気持ちのいい場所になっています。グラウンドゴルフの後はお茶を飲んで一休み。「こうしておしゃべりをする時がいちばん楽しみ。」と参加者から声があがりました。

令和3年5月、牛谷団地の本城清美さんに新型コロナウイルスワクチン接種をみんなで協力して打つことができた話を聞きました。高砂市では、まず80歳以上の高齢者を対象にワクチン予約の受付が始まりました。本城さんは、近所の人が一りで予約をとるのに不安を抱えていることを知りたちみんなと協力することにしました。予約開始当日は、本城さんの家に5人が集まり固定電話と携帯電話から電話をしてもなかなかつながりません。電話をかける人、お茶を入れてみんなに配る人、それぞれ一生懸命です。ようやくのことで一人の電話がつながりました。5人分の予約が取れたときは、みんなで歓声をあげて喜びあいました。その後、接種会場へいくのも5人で協力しました。メンバーの一人の息子さんが5人を乗せて接種会場まで連れていってくれました。写真は、2回のワクチン接種を終えて晴れ晴れした表情の皆さんです。新型コロナウイルス禍という困難な状況は、高齢者には命にかかわる危機的状況です。こんな時だからこそみんなで協力して乗り越えていく力強いつながりがありました。



水曜日の午後は、牛谷団地自治会館でお茶のみをしている所にお邪魔しました。森進一の話をしたり、きゅうりのレシピの交換をしたり、「便秘のお薬はこんなんがええよ。」といろんな情報の交換会になっています。



発行：北浜地区支え合いづくり協議会

事務局：高砂市社会福祉協議会 高砂市地域包括支援センター

TEL:079-443-3725



北浜地区のきらりと光る人たち



取材先：牛谷東の高橋さんと巖さん

牛谷東の高橋さんは器用な腕を生かして、自宅向かいの知り合いの家の塀に「ふれあい処」の看板をあげ、手作りのベンチを置いて、ご近所さんが一休みできる場所を作りました。訪ねた時は、すでに休憩されている人がいて、写真を撮らせてもらいました。夏になると、ベンチが日陰になる午後3時頃からご近所の人々が寄ってこられるようです。



巖さんは、あじさいが大好きな素敵な女性です。いろんな品種のあじさいを育てておられます。「これは、シャーロットと言って、イギリスのプリンセスの名前なのよ。こちらは、お多福でおめでたい名前でしょ。」とたくさんある品種をすべて覚えておられます。市内のあちこちから、あじさいの花を見に来られるようで、その人たちとお話するのも楽しみですとおっしゃっていました。



牛谷東を行ったり来たりしているうちに、通りがかりの人たちが声をかけあって、楽しいお話がつづきました。あじさいの花がきれいに咲いて、みんなの笑顔もいっぱいあふれる牛谷東の通りでした。